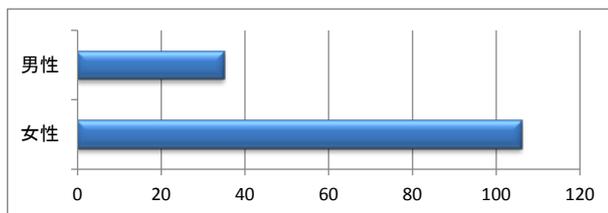


- タ イ ト ル : がん医療フォーラム仙台2015
「がん患者と家族の療養を考える」
アンケート
- 日 時 : 2015年11月8日(日)13:00~16:00 (開場 12:30)
- 会 場 : 仙台国際センター 2階 大会議室「橘」
宮城県仙台市青葉区青葉山無番地
- 対 象 : がん患者さんの療養支援について関心のある一般の方、がん患者さんのご家族、医療従事者、研究者、介護福祉関係者、行政担当者など
- 開 催 概 要 : 「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」を目指して、様々な取り組みが始まっています。宮城県、仙台市近隣のがん患者さんの家族、東北地域の医療関係者、周囲の支援者、研究者が一堂に会し、「がん患者さんが住み慣れた地域で過ごすことができる仕組みづくり」の実現に向けて、療養する患者さんご家族を支える情報の共有と連携の必要性について議論します。
- アンケート回収数 : 141

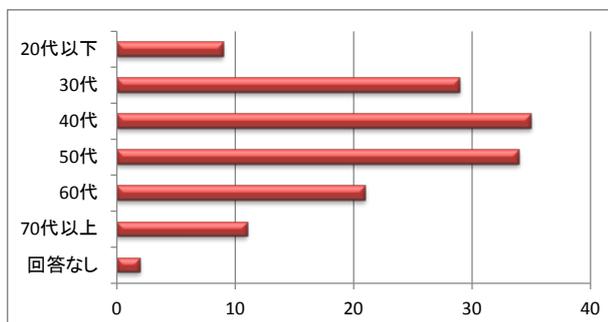
■性別を教えてください。

	回答数	比率
男性	35	24.8%
女性	106	75.2%
合計	141	100.0%



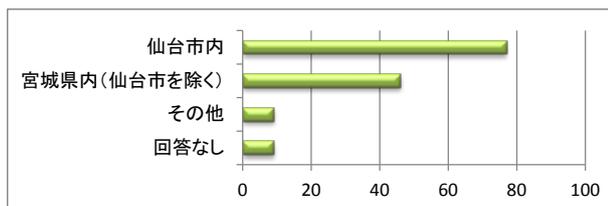
■年代をお選びください。

	回答数	比率
20代以下	9	6.4%
30代	29	20.6%
40代	35	24.8%
50代	34	24.1%
60代	21	14.9%
70代以上	11	7.8%
回答なし	2	1.4%
合計	141	100.0%



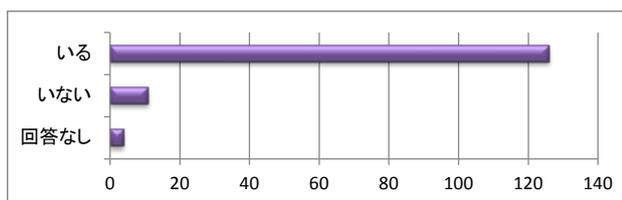
■お住まいの都道府県を教えてください。

	回答数	比率
仙台市内	77	54.6%
宮城県内(仙台市を除く)	46	32.6%
その他	9	6.4%
回答なし	9	6.4%
合計	141	100.0%



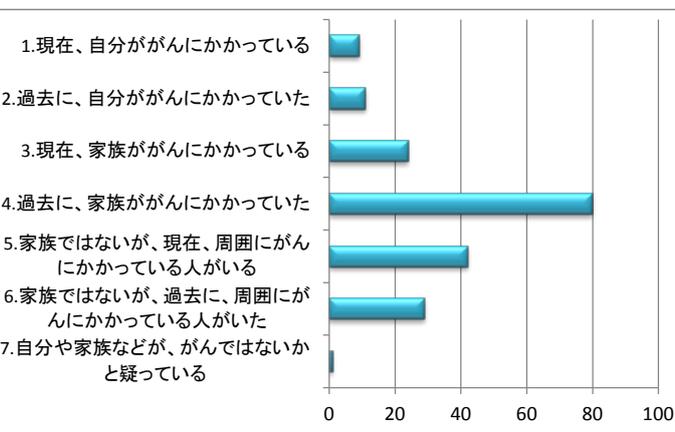
■現在または過去に、ご自身、ご家族や周囲にがんにかかっている方はいらっしゃいますか。

	回答数	比率
いる	126	89.4%
いない	11	7.8%
回答なし	4	2.8%
合計	141	100.0%



■「いる」とご回答の方の記入内容

	回答数	比率
1.現在、自分ががんにかかっている	9	7.1%
2.過去に、自分ががんにかかっていた	11	8.7%
3.現在、家族ががんにかかっている	24	19.0%
4.過去に、家族ががんにかかっていた	80	63.5%
5.家族ではないが、現在、周囲にがんにかかっている人がいる	42	33.3%
6.家族ではないが、過去に、周囲にがんにかかっている人がいた	29	23.0%
7.自分や家族などが、がんではないかと疑っている	1	0.8%
回答者数	126	
回答数	196	

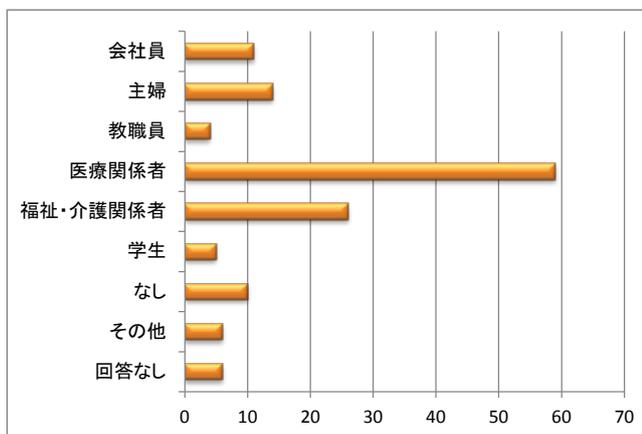


※上記の比率は回答者数に対する比率です。



■ご職業をお聞かせください。

	回答数	比率
会社員	11	7.8%
主婦	14	9.9%
教職員	4	2.8%
医療関係者	59	41.8%
福祉・介護関係者	26	18.4%
学生	5	3.5%
なし	10	7.1%
その他	6	4.3%
回答なし	6	4.3%
合計	141	100.0%



■職業で「その他」とご回答の方の記入内容

	回答数
無職	0
自営業	0
医療系NPO法人広報事業	0
NPO会員	0
行政	1
サプリメントの相談員	0
社労士	0
市議会議員	0
地方公務員	0
ピアサポートの会を運営している	0
ボランティア	0
年金生活者	0
回答なし	0
合計	1

■上記で医療関係者および福祉・介護関係者にチェックされた方にお尋ねします。

職種・専門分野をお聞かせください。

	回答数	比率
看護師/保健師	40	47.1%
ソーシャルワーカー	8	9.4%
介護支援専門員	12	14.1%
医師	7	8.2%
事務	1	1.2%
薬剤師	7	8.2%
その他	7	8.2%
回答なし	3	3.5%
回答者数	85	
回答数	85	

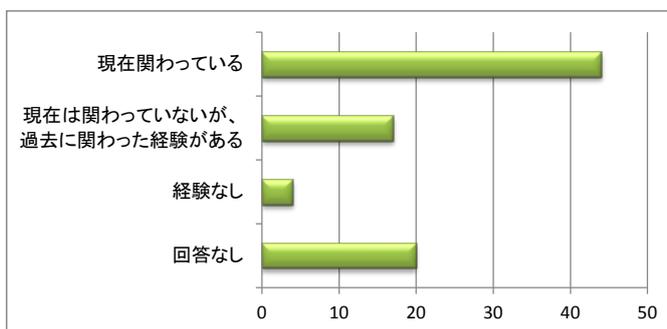
※上記の比率は回答者数に対する比率です。

職種・専門分野で「その他」とご回答の記入内容

	回答数
介護福祉士	2
介護員	2
看護助手	1
行政・市町村	1
ヘルパー	1
合計	7

がん患者さんやご家族等に対する相談支援に関わったご経験をお聞かせください。

	回答数	比率
現在関わっている	44	51.8%
現在は関わっていないが、過去に関わった経験がある	17	20.0%
経験なし	4	4.7%
回答なし	20	23.5%
合計	85	100.0%



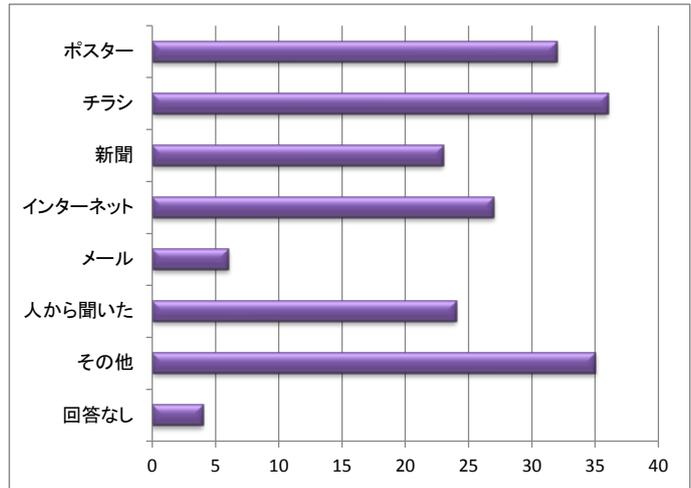
■本日のフォーラムをどこで知りましたか。

	回答数	比率
ポスター	32	23.4%
チラシ	36	26.3%
新聞	23	16.8%
インターネット	27	19.7%
メール	6	4.4%
人から聞いた	24	17.5%
その他	35	25.5%
回答なし	4	2.9%
回答者数	137	
回答数	187	

※上記の比率は回答者数に対する比率です。

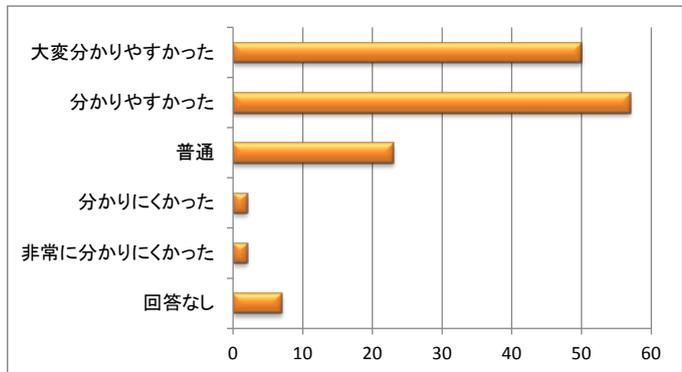
■「人から聞いた」とご回答の記入内容

	回答数
労災病院の先生から聞いた。	2
薬剤師会から聞いた。	1
緩和科の医師から聞いた。	1
患者会で知った。	1
弟から聞いた。	1
高橋信先生から聞いた。	2
町役場で聞いた。	1
回答なし	15
合計	24



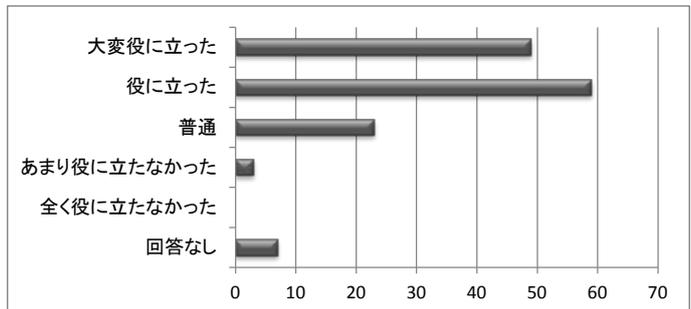
フォーラムの「内容」は分かりやすかったですか。

	回答数	比率
大変分かりやすかった	50	35.5%
分かりやすかった	57	40.4%
普通	23	16.3%
分かりにくかった	2	1.4%
非常に分かりにくかった	2	1.4%
回答なし	7	5.0%
合計	141	100.0%



フォーラムの「内容」は役に立ちましたか。

	回答数	比率
大変役に立った	49	34.8%
役に立った	59	41.8%
普通	23	16.3%
あまり役に立たなかった	3	2.1%
全く役に立たなかった	0	0.0%
回答なし	7	5.0%
合計	141	100.0%



■「ご意見・ご感想」

- 参加してよかった。勉強になった …6件
- 「ホームホスピス」を初めて知った。関心を持った …13件
- 「臨床宗教師」を初めて知った …4件
- 「がん＝死」ではない。特別なことではないと思った …3件
- 時間が短すぎた。もう少し話を聞きたかった
- 「死ぬこと」はどう受け入れるか、どう過ごすかが大切である
- 医療者と患者、家族との信頼関係が大切であると感じた
- 様々な職種、立場の方からの視点を知ることが出来た
- 正しい情報、必要な情報を発信していくことが大切だと感じた
- 患者にとって意味のある治療を選択する支援、意思決定支援をしていくことが大切だと分かった

■Q10 あなたの考える「がん患者さんとご家族を地域で支える社会」とは、どのような社会ですか。ご自由にお書きください。

- 診断後もその人らしく、QOLを下げないで生活を送れる社会 …10件
- 患者と家族の希望を叶え安心して療養できる社会、最期を迎えられる社会 …8件
- 地域でがんを理解し、支え合える社会 …4件
- がんである事を公表できる社会 …4件
- がんを特別視しない、偏見を持たない社会 …2件
- 仕事を続けられる、治療後に社会復帰できる …3件
- 住み慣れた地域で地域の格差なく必要十分なケアが受けられる …3件
- 一人暮らしが増えているので、血縁を超えた知人、友人、近隣の人などの支えが必要
- 不安や悩み、生活について相談、支援が受けられる社会
- 患者、家族も孤立しない社会

■Q11 本日のフォーラムでもっと詳しく知りたかった点や議論したかった点、お感じになったことなどをご自由にお書き下さい。

- 臨床宗教師についてもっと知りたかった …3件
- 臨床宗教師は今後重要になってくると思う …8件
- 病院から在宅療養への移行のポイント、具体的な事例なども聞けると良かった …2件
- 患者の不安、心配をどう解消すべきか、それらを相談する場所はどこなのか
- 分からない為の心配をいろいろな機関に相談などできることを教えてあげたい

- 在宅緩和ケアを知りたかった
- 緩和ケア施設が足りないのでホームホスピスが数多く立ちあがって欲しい
- 患者の家族を支える場所・機会も必要である
- 健康なうちに備えておかなければならないテーマだと思った
- 寸劇はとてもわかりやすく、ユーモアもあり良かった

■Q12 最後に、「地域における緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクト」についてお尋ねします。このプロジェクトでは、「がん患者さんとご家族のための在宅療養ガイド」の地域への普及と活用を目指しています。在宅療養ガイドをご覧になった感想、療養支援に必要な情報について、ご意見やご提案をお寄せ下さい。

- 読みやすかった。分かりやすかった …3件
- イラストがありあたたかい印象、明るいイメージ …2件
- 今後、業務のなかで活用（参考に）していきたい …6件
- ページ数が多い。もっと簡潔にして欲しい …4件
- こういった活動・取り組みをもっと行っていくべき …2件
- 具体例・実例の情報が沢山欲しい
- こういったプロジェクトを機に、緩和ケアや介護のサポート、知識拡大に繋がれば素晴らしいと思う
- 患者会、家族会、ピアサポーターなどの情報が詳しく分かるとありがたい
- とてもよい内容。あらゆるステージのがん・家族が手に取りやすいところに設置していただきたい